

実施状況報告

事業名	人権まつり
実施主体名	大洲市立肱東中学校
日時	平成 28 年 10 月 30 日(日)
場所	肱東中学校体育館・校舎・中庭
参加者	生徒、保護者、人権擁護委員、市人権啓発課職員、地域一般 他

今年度も、人権意識の高揚と差別の解消を目指し、人権・同和教育の視点に立った取組を行った。内容としては、全校生徒一人一人が人権標語と人権作文を作成し、人権標語は各学級の代表者 5 名が、人権作文は各学年の代表者 3 名が全体で発表を行った。

また、人権講演会は昨年度まで宇和島市立吉田小学校で校長を勤められた鹿島倉史先生を講師にお招きし、ご自身の同和問題・人権問題とのかかわりを熱く語っていただいた。

生徒による人権劇では、障がいや理由とする差別を題材に、3年生有志が劇中の人物を熱演した。劇を通して、すべての人々が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生していくことの大切さを学ぶことができた。人権まつり後の感想では、「人権標語や人権作文の発表を聴いて、人権についての考えを深めることができた。」「人権劇を観て、差別や偏見、いじめは絶対に許してはいけないという気持ちが強まった。」などの感想が多く見られ、人権意識の高まりを感じることもできた。保護者から寄せられた感想もたいへん好評であった。

人権まつりでは、人権に関連した取組の他に、総合的な学習の時間に取り組んだ福祉体験の報告や、全校生徒による合唱や学年対抗合唱コンクール、総合文化部音楽コースの演奏など日頃の活動の成果を披露した。また、PTAの協力によるバザーや掘り出し物市なども行った。保護者など学校関係者だけでなく、地域の全世帯に案内状を配布し、大勢の方に来校していただき生徒の活動の様子を見守っていただいた。来校いただいた方の中には、人権擁護委員、地元の市議会議員、公民館長、民生児童委員、小学校・保育所の職員、駐在所の警察官がおられた。

